

保健医療学研究科 博士後期課程 保健医療学専攻 履修モデル

履修モデル1：修士号を有する理学療法士、作業療法士、はり師・きゆう師等で地域の保健医療施設の上級職・指導者をを目指す者

	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ (必修・2単位)					
	保健医療研究方法特論Ⅱ (必修・2単位)					
専門教育科目		保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ 保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ 保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ (1科目2単位選択)				
		保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅱ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ (1科目2単位選択)				
		保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ 保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ (1科目2単位選択)				
特別研究科目	特別研究Ⅰ (必修・4単位)		特別研究Ⅱ (必修・4単位)		特別研究Ⅲ (必修・4単位)	

1年次前期には共通教育科目2科目(4単位)を受講し、研究を実施するための基礎知識を獲得する。

1年次後期には専門教育科目のうち保健医療施設の該当する専門分野における主導的臨床専門職として活躍するために必要な「保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ」、「保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ」、及び「保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ」から1科目(2単位)、「保健医療技術開発学実践演習Ⅰ」、「保健医療技術開発学実践演習Ⅱ」、及び「保健医療技術開発学実践演習Ⅲ」から1科目(2単位)を履修させ、当該分野における質の高い知識・技術を修得させる。また、これらの質の高い知識・技術を患者へ臨床応用するために「保健医療技術開発学臨床演習Ⅰ」、「保健医療技術開発学臨床演習Ⅱ」、及び「保健医療技術開発学臨床演習Ⅲ」から1科目(2単位)を履修させる。これらの科目の履修より得られた課題を「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」、「特別研究Ⅲ」(各4単位、計12単位)に反映させることで、保健医療技術開発に関するテーマの研究を遂行させる。

履修モデル2：修士号を有する理学療法士、作業療法士、はり師・きゆう師等で地域の保健医療施設で臨床研究を目指す者

	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ (必修・2単位)					
	保健医療研究方法特論Ⅱ (必修・2単位)					
専門教育科目		保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ 保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ 保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ (1科目2単位選択)				
		保健医療技術開発学実践演習Ⅰ 保健医療技術開発学実践演習Ⅱ 保健医療技術開発学実践演習Ⅲ (1科目2単位選択)				
特別研究科目	特別研究Ⅰ (必修・4単位)		特別研究Ⅱ (必修・4単位)		特別研究Ⅲ (必修・4単位)	

1年次前期には共通教育科目2科目(4単位)を受講し、研究を実施するための基礎知識を獲得する。

1年次後期には専門教育科目のうち当該分野の発展に必要で新しい治療技術を開発するために必要な「保健医療技術開発学基盤講義Ⅰ」、「保健医療技術開発学基盤講義Ⅱ」、及び「保健医療技術開発学基盤講義Ⅲ」から1科目(2単位)、「保健医療技術開発学実践演習Ⅰ」、「保健医療技術開発学実践演習Ⅱ」、及び「保健医療技術開発学実践演習Ⅲ」から1科目(2単位)を履修させ、質の高い知識・研究方法を修得させる。これらの科目の履修より得られた課題を「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」、「特別研究Ⅲ」(各4単位、計12単位)に反映させることで、保健医療技術開発に関するテーマの研究を遂行させる。

履修モデル3：修士号を有する学生で保健医療分野の研究施設・大学等での研究者を目指す者

	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	保健医療研究方法特論Ⅰ (必修・2単位)					
	保健医療研究方法特論Ⅱ (必修・2単位)					
専門教育科目		保健医療科学基盤講義Ⅰ 保健医療科学基盤講義Ⅱ 保健医療科学基盤講義Ⅲ (1科目2単位選択)				
		保健医療科学実践演習Ⅰ 保健医療科学実践演習Ⅱ 保健医療科学実践演習Ⅲ (1科目2単位選択)				
特別研究科目	特別研究Ⅰ (必修・4単位)		特別研究Ⅱ (必修・4単位)	特別研究Ⅲ (必修・4単位)		

1年次前期には共通教育科目2科目(4単位)を受講し、研究を実施するための基礎知識を獲得する。1年次後期には専門教育科目のうち学生が興味ある専門分野に関する研究を行うために必要な知識・技術を修得するために「保健医療科学基盤講義Ⅰ」、「保健医療科学基盤講義Ⅱ」、及び「保健医療科学基盤講義Ⅲ」から1科目(2単位)、「保健医療科学実践演習Ⅰ」、「保健医療科学実践演習Ⅱ」、及び「保健医療科学実践演習Ⅲ」から1科目(2単位)を履修させる。これらの科目の履修より得られた課題を「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」、「特別研究Ⅲ」(各4単位、計12単位)に反映させることで、将来、保健医療分野の研究施設・大学等での研究者・教員を目指す。

修了要件

- 1 本研究科に3年以上在籍し、共通教育科目4単位(必修)、専門教育科目(選択)より2科目4単位以上、特別研究科目12単位の計20単位以上を修得すること。
- 2 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、博士論文は、在籍期間中の研究について査読のある英文学術誌に筆頭著者として掲載(または審査時点で掲載受理)されている英論文とする。また、博士論文に関連する学術論文を副論文として提出することができる。なお、副論文は共著者であっても提出することができる。
- 3 在籍期間に関しては、優れた業績をあげた者については、所定の単位を履修し、研究科に2年以上在籍すれば足りるものとする。この優れた業績とは、査読付き英文学術雑誌に2編以上発表されているか掲載受理されていることとする。